



山下 敏行さん  
Yamashita Toshiyuki

〔世持区〕

やました・としゆき / 平成24年度に、乙女地区子ども会育成会の会長に就任。子どもたちとともに、津志田河川自然公園の清掃活動を行っている。

## 清掃活動を通して、ごみを捨てない意識を育てたい

「次代を担う子どもたちには、緑川などの清掃活動を通じて、環境美化への意識を持ってもらいたいですね」と話すのは、乙女地区子ども会育成会の会長を務める山下敏行さん。

本町を南北に流れる清流・緑川。アユなど、清流に生息する川魚をはじめとするさまざまな水辺の生き物や植物をめぐっている。同会では、バーベキューやキャンプなどを楽しむ人たち

で人気の津志田河川自然公園やその周辺などを、毎年10月の最終日曜日に一斉清掃しているほか、子どもたちによる環境美化啓発のためのポスター作成などに取り組んでいる。「ペットボトル、空き缶、空きびんや、バーベキューをしたときに出たと思われる残骸などが、軽トララック1台分ぐらいのごみが集まります」

と、毎年約80人の子どもたちや保護者、子ども会関係者などが、この「夏の置き土産」を拾っている。

「清掃活動に参加するのは、小学生が大半。中には、小さい弟や妹を連れてきて一緒に清掃したり、毎年参加している熱心な子もいます」と話す山下さん。清掃活動中の子どもたちの様子について「隅から隅まで、文字通り『草の根を分けてでも』ごみを探していて、非常にまじめに活動しています」と、その取り組み姿勢に感心する。

一方で、「緑川だけでなく、道端にもポイ捨てされたごみが目につきます。また、冷蔵庫などの電化製品やタイヤなど、大型ごみが不法投棄されていることもあります」と、捨てる側の意識の低さを指摘「拾ってきれいにするだけではなく、最初からごみを捨てないことが何よりも大切。子どもたちには、『捨てない大人』になってもらいたい」と話す山下さん。「育成会では、今後も清掃活動を続けていきます」と、意気込みを語った。